

北海道トラック部会が総会

2018年春闘方針を決定 9条改憲許さず、組織拡大に全力で

北海道トラック部会は1月20～21日、小樽市で「2018年総会」を開き、6支部・分会などから32人が参加しました。総会では、佐藤達雄部会長のあいさつのもと石塚幹夫さんが「2018年春闘方針案」を提案しました。

方針では、「誰もが8時間働けば人間らしい暮らしが実現する春闘に」「格差を是正する春闘に」「安倍9条改憲に終止符を打ち、戦争する国づくりから転換し、平和で核兵器のない世界をつくる春闘に」「すべての参加組合が純増を実現する春闘に」の4つの重点にもとづき、賃上げ、雇用・労働時間の改善とともに、「3000万人署名」をはじめ改憲策動と戦争する国づくりを許さないとりくみをすすめることを確認しました。組織拡大では、新入社員や異動対象者の名簿を作成して、いつまでに誰が、どんなアプローチで声をかけるかを具体化することにし、この間の光合金やカイゲンファーマでの成果などが報告されました。また、「無期雇用転換」のとりくみも強めることにしています。トラック職場での「有給休暇」の賃金を平均賃金で補償させる要求や、長距離運行における「みなし残業（深夜割増をふくむ）」の実態についての調査も確認しました。

総会は新年度役員に佐藤部会長をはじめ、函館運送支部、札幌地域支部札幌定温分会と釧路から選出することを決めました。総会では道本部の森国委員長、全国トラック部会の鈴木事務局長が激励のあいさつをしました。

道南「学童保育総がかり」の第2回対策会議

1月22日、道南での「学童保育総がかり」作戦の第2回対策会議を開きました。会議には道労連、函労会議、建交労道本部、函館支部、同学童保育分会から参加し、2月に道南の各自治体に「学童保育」施策についてのアンケートを送ること、学童保育分会の渡辺分会長が参加するスウェーデンの学童保育視察（1月28日～2月3日）の「報告会」を3月4日に開くこと、4月に「自治体キャラバン」と学童保育施設訪問をおこなうことなどを確認しました。

国会開会日アクション

1月22日に第196通常国会が召集されました。この日の昼、札幌では「国会開会日アクション」がおこなわれ、道労連の黒澤幸一議長などが「安倍9条改憲を許さない」「大企業や財界のための『働かせ方改革』ではなく、8時間働けば暮らしていける社会をつくろう」と市民に訴えました。

今年最初の「戦争させない」総がかり行動

1月19日、札幌で今年最初の「戦争させない」総がかり行動がおこなわれました。この日は、大通公園が「雪まつり」準備のため使えないことから、札幌駅前での行動となりました。北海道平和運動フォーラムの長田秀樹代表に続いてあいさつした道憲法共同センターの黒澤幸一共同代表（道労連議長）は「今年は重要なたたかひの年だ。3000万人署名をやりあげて、9条改憲を発議させないために力を集め、安倍政権を退場させよう」と訴えました。